

資料編

1. 上位・関連計画および関連事業
2. ワークショップ
3. 地元会議
4. 滝尾駅前広場の将来利用者数
5. 交通空間の施設規模
6. 滝尾駅前広場整備基本計画の策定経過

1. 上位計画・関連計画および関連事業

(1) 大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」第2次基本計画

策定年月	2020年(令和2年)3月	
計画の期間	2020(令和2)年度～2024(令和2)年度	
めざすまちの姿(都市像)	笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市	
基本的な政策	<ol style="list-style-type: none"> 1 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上) 2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐむまちづくり(教育・文化の振興) 3 安全・安心を身近に実感できるまちづくり(防災安全の確保) 4 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり(産業の振興) 5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり(都市基盤の形成) 6 自然と共生する潤い豊かなまちづくり(環境の保全) 	
基本計画(各論)	2 豊かな心と たくましく生きる力 をはぐむ まちづくり (教育・文化の 振興)	<p>第2章 個性豊かな文化・芸術の創造と発信</p> <p>)))伝統的な芸能、行事の保存・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝統的に地域で受け継がれてきた民俗文化財の保存・継承に努めます。 ●伝統芸能や地域固有の行事などを通じ、地域に対する愛着をはぐむとともに、市民相互の連携を深めて地域の活性化を図ります。
	5 将来にわたって 持続可能な魅力 あふれる まちづくり (都市基盤の 形成)	<p>第1章 快適な都市構造の形成と機能の充実</p> <p>第1節 計画的な市街地の形成</p> <p>)))風格ある広域都心と暮らしやすい地区拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の自然・歴史・文化などの特性を生かした個性的で魅力のある暮らしやすい地区拠点の形成を目指します。 <p>)))計画的な土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●良好な市街地の形成を目指し、区画整理や住環境の整備、市街地再開発など、地域の特性に応じた事業の推進を図ります。 ●市街地の整備等に当たっては、低・未利用地の有効活用など、効率的かつ都市の健全な発展に資する土地利用を図るとともに、緑の保全や創造、景観、防災などに配慮し、周囲の環境との調和、宅地等の安全性の確保に努めます。 <p>)))産業や生活を支える道路体系の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市域の均衡ある発展と経済・産業活動の活性化、交通渋滞の緩和などのため、道路、橋梁の拡幅や新規橋梁、休憩施設等の整備を促進します。 <p>)))人にやさしく美しい都市空間の創造と整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がいのある人をはじめとするだれもが円滑に移動ができ、安全・安心に都市施設の利用ができるよう、段差の解消や点字ブロックの適正配置、無電柱化の推進などユニバーサルデザインに配慮した都市空間の整備に取り組みます。

	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の延焼遮断帯や避難・輸送路、避難場所など災害に強い都市空間の整備を進めます。 ●風格のある質の高い都市景観づくりや地域の特性を生かした個性ある都市空間形成を推進するとともに、歴史・文化・芸術を生かした観光拠点の整備を推進し、回遊性の高い、魅力的で歩いて楽しい都市を創造します。 <p>第2節 交通体系の確立</p> <p>>>>公共交通ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交通事業者等と連携し、各鉄道駅における駅前広場、駐車場、駐輪場などの整備をはじめ、新駅の設置、日豊本線の高速・複線化などを促進するとともに、バスやタクシーをはじめとする交通機関との乗り換えなど、交通結節機能の強化を目指します。 <p>>>>公共交通の利便性の向上と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がいのある人等の移動制約者や訪日外国人旅行者、来訪者等の公共交通機関を利用した移動の安全性及び利便性の向上を図るため、市民、交通事業者、行政が一体となり、ハード・ソフトの一体的な取組のもと利用環境のユニバーサルデザイン化・バリアフリー化を促進します。 <p>>>>自転車等利用環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国、県等の関係機関と連携し、連続性のある自転車走行空間の整備を進めるなど、自転車を安全・快適に利用できる環境づくりに努めます ●駐輪場の整備やシェアサイクルの導入、自転車利用者の安全対策に関する取組を進めます。
--	---

(2) 大分市都市計画マスタープラン

策定年月	2021年(令和3年)3月
目標年次	2040年(令和22年)(中間年次:2030年(令和12年))
将来都市像	笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市
基本理念	<ol style="list-style-type: none"> 1 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり 2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐむまちづくり 3 安全・安心を身近に実感できるまちづくり 4 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり 5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり 6 自然と共生する潤い豊かなまちづくり
都市づくりの基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 県都にふさわしい広域都心の形成 2 広域的な交流・連携やまちづくりを支える交通体系の確立 3 ライフスタイルを豊かにする快適で安全な住環境と地区拠点を中心としたコンパクトな都市づくり 4 都市の個性と風格を醸成し集客力を高める都市の魅力創出 5 人と自然とが共生できる豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑、水辺の再生 6 自然災害に備える防災機能の向上と危機管理体制の確立 7 産学官民が協働して参画する都市づくりの推進
将来都市構造	<p>■ 滝尾駅周辺: 拠点等の設定なし、住宅市街地としての位置付け</p> <p>・住宅市街地開発事業や開発行為によって形成された住宅団地、従来からの住宅を中心とした土地利用を継承していく市街地については、地区の特性に応じた住環境の維持または改善を図ります。</p> 

■まちづくりの方針

1. 土地利用・市街地整備

- ・滝尾地区においては、住環境整備事業の推進を図るとともに、(都)滝尾駅前線の整備推進をはじめ計画的な市街地整備の方針について検討を行うなど住環境の改善に向けた取組を進めます。
- ・狭あい道路や行き止まりが多い地区等においては、安全で快適な住環境の形成に向けた取組について検討を進めます。

2. 交通施設

- ・東九州自動車道大分ICと市東部を結ぶ、都市の骨格となる(都)庄の原佐野線の東部延伸に向けた取組を進めます。
- ・市街地の外周を迂回し、都市の骨格となる環状道路について、計画の見直しや実現性の検証及び環状ルートを補完する新たな道路計画について検討を行うなど、国、県、市連携のもと、整備に向けた取組を進めます。
- ・中心市街地への円滑なアクセスを図るため、(都)上野丘南大分線、(都)花園細線の整備を推進します。
- ・滝尾地区における東西方向の骨格道路として、(都)片島松岡線の整備に向けた取組を進めます。
- ・JR 南大分駅、滝尾駅、西大分駅などにおいて、駅前広場やアクセス道路の整備など交通結節機能の強化を図ります。
- ・利用者ニーズに対応した新駅設置の可能性について検討します。
- ・歩道などのバリアフリー化を推進します。
- ・公共交通の充実に向けて関係機関にはたらきかけます。

3. 環境・景観

- ・大分川の河川敷を活用した自転車道などの利用促進を図ります。

4. その他

- ・片島地区については、計画的な雨水排水ポンプ場の建設や雨水管きよの整備を推進します。
- ・汚水処理の未普及対策として、人口密度の高い地域や住民意向調査による早期接続の見込める地区を優先的に整備します。
- ・土砂災害の危険性のある区域については、避難体制の整備や新規住宅等の立地抑制などソフト対策を充実させます。

(3) 大分市立地適正化計画

<p>策定年月</p>	<p>2024年(令和6年)3月</p>
<p>目標年次</p>	<p>2040年(令和22年)</p>
<p>都市づくりの基本理念</p>	<p>元気・安心・快適な暮らしを支える 将来にわたって持続可能な『多極ネットワーク型集約都市』の形成</p>
<p>都市づくりの基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 県都にふさわしい風格とにぎわいのある大分都心拠点づくり 2 地域特性を生かした個性と魅力あふれる地区拠点づくり 3 だれもが安心して暮らし続けることができる居住環境づくり 4 交流とつながりをはぐむ公共交通ネットワークづくり
<p>目指すべき 将来都市構造イメージ</p>	
<p>誘導区域及び 誘導施設</p>	<p>■居住推奨区域</p> <p>■誘導施設(都市機能誘導区域内において、立地を誘導すべき都市機能増進施設) ・都市機能誘導区域及び誘導施設の位置付けなし</p>

(4) 大分都市圏総合都市交通計画

策定年月	2021年(令和3年)3月																				
目標年次	2035年(令和17年)																				
都市圏における交通体系の将来像	将来にわたって安心して利用でき、地域の活力と都市圏の発展を支える交通体系																				
基本方針	1 他都市圏との活発な交流・連携を支援する広域交通体系 2 拠点集約型まちづくりを支援する持続可能な交通体系 3 安全・安心な移動により生活を支える交通体系																				
県都・大分市の将来交通体系	<p>■大分市における道路ネットワーク</p>  <p>注)短期:概ね5年程度、中期:概ね10年程度、長期:概ね10～20年程度</p> <p>■大分市における道路ネットワークに関する整備候補路線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>路線名</th> <th>区間</th> <th>供用を目指す時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>片島松岡線</td> <td>大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】</td> <td>短期 (完了)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>片島松岡線</td> <td>片島松岡線 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】</td> <td>中期</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>滝尾駅前線</td> <td>大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】</td> <td>中期</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>花園細線</td> <td>大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】</td> <td>長期</td> </tr> </tbody> </table>	No	路線名	区間	供用を目指す時期	6	片島松岡線	大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】	短期 (完了)	15	片島松岡線	片島松岡線 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】	中期	17	滝尾駅前線	大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】	中期	24	花園細線	大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】	長期
No	路線名	区間	供用を目指す時期																		
6	片島松岡線	大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】	短期 (完了)																		
15	片島松岡線	片島松岡線 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】	中期																		
17	滝尾駅前線	大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】	中期																		
24	花園細線	大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】	長期																		
大分市における地区毎の主な公共交通施策(大分地区)	<p>■幹線交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道沿線の地区拠点等との連携強化 ○鉄道駅周辺及びホーバークラフト発着地の交通結節機能強化 ○都市間交流を活性化する高速道路を活用した広域的バス運行の強化 <p>■地域内交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大分駅周辺におけるバスターミナルの設置及び機能の充実 ○ホーバークラフト発着地の二次交通の充実 ○地区内の回遊性を高める循環バスの導入 																				

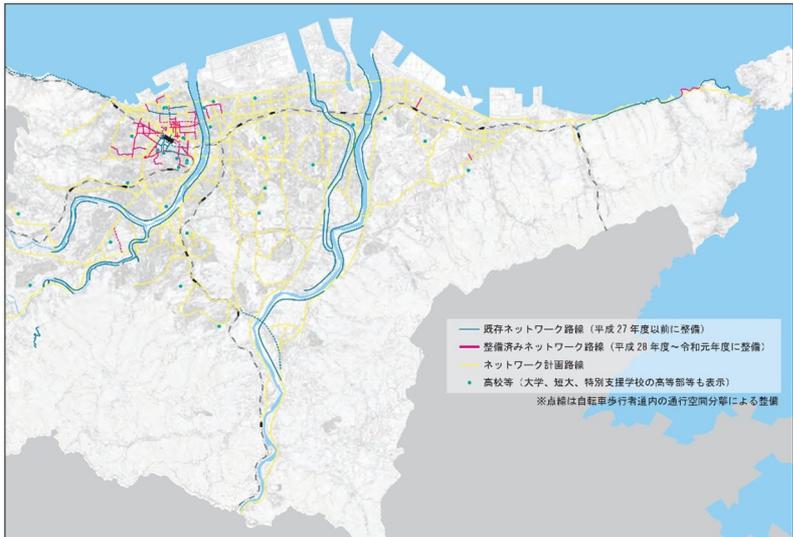
(5) 大分市地域公共交通計画

策定年月	2022年(令和4年)3月																
目標年次	2022(令和4)年度～2026(令和8)年度																
地域公共交通の 基本理念	市民・交通事業者・行政が連携し、だれもが快適に 移動できる公共交通ネットワークの構築を目指す。																
本市における 地域公共交通の 基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化 2 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を生かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築 3 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築 4 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備 																
目標を達成するため に行う取組の全体 像	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本方針</th> <th>目標</th> <th>取組の全体像</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化</td> <td>だれもが安心して生活できる生活交通の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討 ◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討 ◆ 地域内の移動手段の調査・検討 ◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討 ◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他） ◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討 ◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し </td> </tr> <tr> <td>(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を生かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築</td> <td>都市拠点と地区拠点のにぎわい創出</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 中心市街地循環バス「大分キャンバス」の運行 ◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンズローモビリティ） ◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等） ◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進 ◆ 新駅設置の可能性・役割の検討 </td> </tr> <tr> <td>(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築</td> <td>公共交通利用者の維持・確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討） ◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討） ◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討） ◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント） ◆ 広域圏の公共交通との連携強化 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転） </td> </tr> <tr> <td>(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備</td> <td>だれもが利用しやすい公共交通</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用 ◆ 低床バス、UDタクシーの導入促進等 ◆ 公共交通の情報発信の取組強化 ◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合） ◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備 </td> </tr> </tbody> </table>		基本方針	目標	取組の全体像	(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化	だれもが安心して生活できる生活交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討 ◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討 ◆ 地域内の移動手段の調査・検討 ◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討 ◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他） ◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討 ◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し 	(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を生かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築	都市拠点と地区拠点のにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中心市街地循環バス「大分キャンバス」の運行 ◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンズローモビリティ） ◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等） ◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進 ◆ 新駅設置の可能性・役割の検討 	(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築	公共交通利用者の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討） ◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討） ◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討） ◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント） ◆ 広域圏の公共交通との連携強化 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転） 	(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備	だれもが利用しやすい公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用 ◆ 低床バス、UDタクシーの導入促進等 ◆ 公共交通の情報発信の取組強化 ◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合） ◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備
基本方針	目標	取組の全体像															
(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化	だれもが安心して生活できる生活交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討 ◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討 ◆ 地域内の移動手段の調査・検討 ◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討 ◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他） ◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討 ◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し 															
(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を生かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築	都市拠点と地区拠点のにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中心市街地循環バス「大分キャンバス」の運行 ◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンズローモビリティ） ◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等） ◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進 ◆ 新駅設置の可能性・役割の検討 															
(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築	公共交通利用者の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討） ◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討） ◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討） ◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント） ◆ 広域圏の公共交通との連携強化 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転） 															
(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備	だれもが利用しやすい公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用 ◆ 低床バス、UDタクシーの導入促進等 ◆ 公共交通の情報発信の取組強化 ◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合） ◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備 															

(6) 大分市バリアフリーマスタープラン

策定年月	2020年(令和2年)4月
目標年次	2020(令和2)年度～2024(令和6)年度
基本理念	だれもが自由にどこへでも豊かさあふれる大分市
基本方針	<p><u>1 バリアフリー・ユニバーサルデザインを基本としたまちづくりの大分市全域への拡大</u></p> <p>「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、年齢、障がいやケガの有無、性別等に関わらず、誰もが社会参加ができる安全で快適なまちづくりを推進します。バリアフリーマスタープランの策定により、移動等円滑化促進地区の選定及び重点整備地区を設定し、バリアフリー・ユニバーサルデザインを基本としたまちづくりにおける大分市全域への拡大を推進します。</p> <p><u>2 誰もが円滑に移動できるバリアフリー環境の形成強化</u></p> <p>本市の都市計画、公共交通ネットワークの特性を踏まえ、高齢者や障がい者をはじめ誰もが、歩行または公共交通を利用してどこへでも円滑に移動ができるバリアフリー化の環境整備を推進します。不特定多数の人々が利用する施設において、バリアフリーの取組を進めます。</p> <p><u>3 市民・事業者・行政の協働による住民参加の取組</u></p> <p>事業者や国・県・市の連携を図り、不特定多数の人々が利用する施設を含む一体的かつ重点的なバリアフリー化を推進します。また、計画段階での高齢者、障がい者等との意見を交わすなど、住民参加によるバリアフリー化に取組みます。</p> <p><u>4 継続的なバリアフリー化の進行管理と検証</u></p> <p>バリアフリー化は単発的な整備で完了するものではなく、また、費用面や整備内容によって短期的に整備を完了することが難しい場合もあることから、面的かつ一体的な整備を継続的に取組むことが必要です。</p> <p>継続的な取組を行うにあたっては、取組の進行管理を行いながら、PDCAサイクルによる検証を行い、結果に応じて見直しや新たな取組を行います。</p> <p><u>5 心のバリアフリーの推進</u></p> <p>安全・安心に社会生活ができるようにするために、物理的な整備だけでなく、市民一人ひとりがバリアフリーについて理解を深め、お互いに協力し、助け合うことにより、心のバリアを取り除くことが必要です。</p> <p>市民一人ひとりが高齢者、障がい者等への理解と意識の醸成を図るために、これまでの取組を継続して進めていくことが重要です。</p> <p><u>6 計画立案から周知へ、バリアフリーの普及・啓発活動の推進</u></p> <p>施設のバリアフリー化によるハード整備の充実とともに、高齢者、障がい者等に対して、市民一人ひとりがやさしさや思いやりを持って接するために、バリアフリー化に関する本市の取組状況を共有し、各種の啓発・広報活動に取組みます。</p>

(7) 大分市自転車活用推進計画

<p>策定年月</p>	<p>2020年(令和2年)4月</p>																						
<p>計画期間</p>	<p>2020(令和2)年度～2024(令和6)年度</p>																						
<p>基本方針</p>	<p>バイシクルフレンドリータウン ～自転車が似合うまち～の創造</p>																						
<p>施策の体系</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"> <p>目標1 自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3"> <p>都市環境</p> </td> <td> <p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり (1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり (1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり (1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的なMaaS導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT等の活用</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>目標2 自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> <p>健康</p> </td> <td> <p>4. 情報発信等による自転車利用の促進 (1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>5. サイクルスポーツの普及促進 (1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>目標3 自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> <p>観光</p> </td> <td> <p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進 (1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>7. サイクルツーリズムの推進 (1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>目標4 自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3"> <p>思いやり ＜安全・安心＞</p> </td> <td> <p>8. 安全な自転車等の普及促進 (1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>9. 自転車ルール・マナーの啓発 (1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>10. 災害時の自転車活用方策の検討 (1) 災害時に備えた市職員の自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p> </td> </tr> </table>	<p>目標1 自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p>		<p>都市環境</p>	<p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり (1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p>	<p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり (1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p>	<p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり (1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的なMaaS導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT等の活用</p>	<p>目標2 自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p>		<p>健康</p>	<p>4. 情報発信等による自転車利用の促進 (1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p>	<p>5. サイクルスポーツの普及促進 (1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p>	<p>目標3 自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p>		<p>観光</p>	<p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進 (1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p>	<p>7. サイクルツーリズムの推進 (1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p>	<p>目標4 自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p>		<p>思いやり ＜安全・安心＞</p>	<p>8. 安全な自転車等の普及促進 (1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p>	<p>9. 自転車ルール・マナーの啓発 (1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p>	<p>10. 災害時の自転車活用方策の検討 (1) 災害時に備えた市職員の自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p>
<p>目標1 自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p>																							
<p>都市環境</p>	<p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり (1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p>																						
	<p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり (1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p>																						
	<p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり (1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的なMaaS導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT等の活用</p>																						
<p>目標2 自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p>																							
<p>健康</p>	<p>4. 情報発信等による自転車利用の促進 (1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p>																						
	<p>5. サイクルスポーツの普及促進 (1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p>																						
<p>目標3 自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p>																							
<p>観光</p>	<p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進 (1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p>																						
	<p>7. サイクルツーリズムの推進 (1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p>																						
<p>目標4 自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p>																							
<p>思いやり ＜安全・安心＞</p>	<p>8. 安全な自転車等の普及促進 (1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p>																						
	<p>9. 自転車ルール・マナーの啓発 (1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p>																						
	<p>10. 災害時の自転車活用方策の検討 (1) 災害時に備えた市職員の自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p>																						
<p>具体的な取組</p> <p>1 安全で快適な自転車通行空間づくり</p>	<p>(1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進</p> <p>■ネットワーク路線</p> 																						

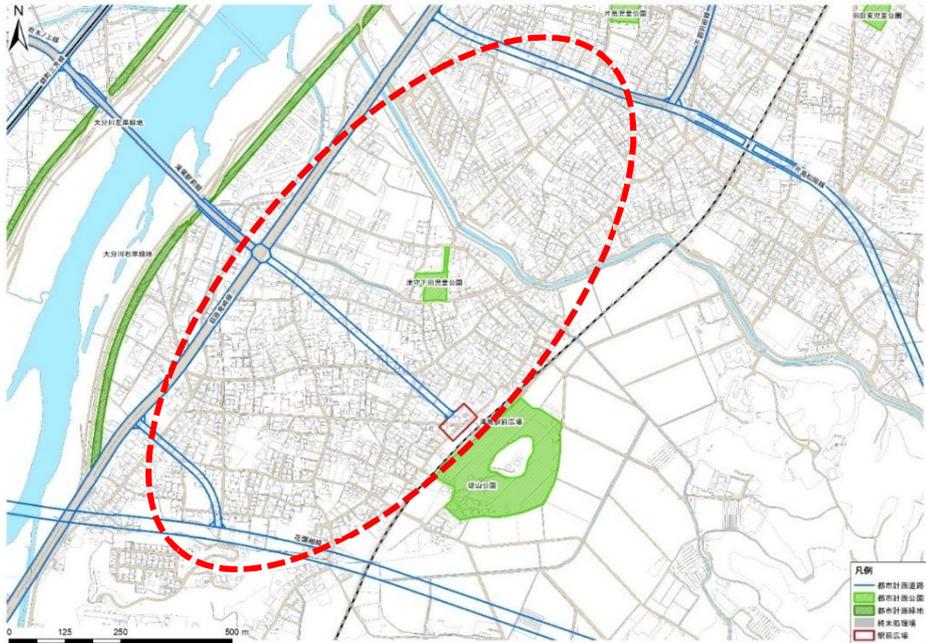
(8) 大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画

<p>策定年月</p>	<p>2021年(令和3年)3月</p>
<p>計画期間</p>	<p>2021(令和3)年度～2025(令和7)年度</p>
<p>基本方針</p>	<p>ハード施策の基本方針「安全で快適な自転車通行空間づくり」 ソフト施策の基本方針「安全な自転車等の普及促進 自転車ルール・マナーの啓発」</p>
<p>施策の体系</p>	<p>■ハード施策とソフト施策の基本的な考え方</p> <p>ハード施策の基本的な考え方</p> <p>＜ネットワークの早期実現＞</p> <p>○新規整備を行う道路については、自転車通行空間整備の検討を行う。 既存道路への自転車ネットワーク整備は課題が多く、時間がかかるのはやむを得ないが、新規整備を行う道路において自転車通行空間の確保を積極的に推進することで、自転車ネットワークの早期実現を目指す。</p> <p>＜整備形態の選定＞</p> <p>○自転車は車道の左側を通行するという原則に沿った自転車通行空間の整備を行う。 車両である自転車は車道の左側を走るという原則に沿った、自転車道、自転車通行帯、車道混在の3つの整備形態を基本として自転車通行空間の整備を推進する。やむを得ず自転車歩行者道内での歩行者と自転車の分離を行う場合は、自転車ネットワークの暫定的な整備形態と位置付ける。</p> <p>ソフト施策の基本的な考え方</p> <p>＜ルール・マナーの実践＞</p> <p>○自転車は車道の左側を通行するという原則に沿った道路利用を促す。 自転車通行空間を整備するだけでは、すべての人が正しく利用するとは限らず、逆走などが発生して危険な場合があることから、様々なソフト施策の推進により、車両である自転車は車道の左側を走るという原則や歩道走行時のルール等を市民に広く認知させるとともに、実践につなげることを目指す。</p> <p>＜お互いに配慮する市民意識（思いやり）の醸成＞</p> <p>○すべての道路利用者がお互いに配慮する意識づくりを目指す。 自転車通行空間が未整備の道路においても、歩行者、自転車、自動車のすべての道路空間利用者が自転車のルール・マナーについて理解し、お互いに配慮する市民意識（思いやり）を持つことを目指す。</p>
<p>ネットワーク計画</p>	<p>■ネットワーク計画図</p>  <p>— ネットワーク計画路線 — 既存ネットワーク (同色点線は自転車歩行者道内の通行空間分離による整備) - - - 事業中の路線 — ステップ3計画路線 (今後5年間) - - - 今後整備を検討する路線 ● 高校等 (大学、短大、特別支援学校の高等部等も表示)</p> <p>国道10号 (事業中)</p>

(10) 大分南部地域まちづくりビジョン

策定年月	2018年(平成30年)7月		
鶴崎地域の将来像	自然豊かな温故知新を体感できるまち		
市長への提言	提言1 住み続けたい、帰ってきたい地域づくり 提言2 地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実 提言3 災害に備えた取組の推進		
提言に基づく提案事業 (本地区に関わる提言を 抜粋)	■将来像の実現に向けた取組(事業案)一覧		
	提言	事業名	概要
	1	子育てしやすい住環境の整備	地域内の道路が狭く、通学路を通り抜ける車も多いため危険です。また、地域に子どもが少なくなっており、地域活性化と住環境の改善が必要であることから、道路、駅、公園などの整備を行う。
		JRの線路を利用して富山方式の路面電車を走らせる	大分駅から大分大学駅の間、3~400m間隔で新駅を設置し、路面電車を走らせることで観光客を集めることができ、高齢者にも優しい公共交通となります。
		滝尾駅前の広い空地を活用	滝尾駅北西の空地を有効活用できるようにしてほしい。市からもJRに働きかけをしてほしい。
		利便性に富んだ街づくり	曲などの地区内の狭い抜け道を通る車が多く危険なため、バイパス道路を整備する。
	2	豊富な歴史を活かした旧跡めぐりサポーターの育成	南部地域の豊富な歴史資源を活用するため、百穴や曲石仏などの地域の歴史を伝える旧跡めぐり子どもサポーターを育成する。郷土愛の醸成につながり、歴史探索などで多世代が交流でき、子育てサークルなども楽しめる機会の創出につながる。
		子育てサロン・地域ふれあいサロンなど未来へつなぐコミュニティの充実・拡充	開催回数の増加や対象者、対象地域の拡大など、子育て世代もそれ以外の人もいきいきと交流しやすい環境の整備を行う。
3	児童と高齢者が安全に避難できる避難設備(インフラ)の整備	避難拠点となる避難所などへの周辺道路の幅員確保などの整備を行う。緊急車両が入れない道路の拡幅、排水路整備など安全安心に資する整備を行う。	
	安全・安心な地域づくり	昨年の台風18号により地域内では床下浸水が発生したこともあり、防災に役立つ情報を地域の人たちで共有するとともに、防災人材の育成などにより、防災意識の向上に役立っている。	

(11) 滝尾駅周辺整備基本構想

<p>基本構想の目的 及び対象区域</p>	<p>「滝尾駅周辺整備基本構想」は、社会状況の変化を踏まえ、本地区の拠点整備の方向性や方針等を市民、行政、まちづくりの専門家等で共有し、市民が主役となる都市づくりを官民協働で整備の推進を図っていくことを目的として策定するものです。</p> 
<p>課題</p>	<p>【JR 滝尾駅周辺に関する課題】</p> <p>課題①：交通結節機能の改善 課題②：駅前広場の整備 課題③：駐車場・駐輪場の確保</p> <p>【周辺道路に関する課題】</p> <p>課題①：道路環境の改善 課題②：地区内交通ネットワークの改善</p> <p>【土地利用に関する課題】</p> <p>課題①：生活利便施設の立地促進 課題②：土地利用手法の検討</p> <p>【その他の課題】</p> <p>課題①：災害対策の促進 課題②：歴史文化資源の活用</p>
<p>滝尾駅周辺地区の 将来像</p>	<p>地域の拠点と周辺環境の整備による住環境の向上</p>
<p>都市づくり方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 滝尾駅の交通結節機能の強化 2. 地区内・地区外への円滑な移動を行うための安全で快適な道路空間の形成 3. 整備に伴う計画的な土地利用の推進 4. 防災・減災への対応と地域資源の活用

(12) 滝尾中部地区住環境整備事業

<p>地区概要</p>	<p>滝尾中部地区は、大分市中心部から南東約 3 キロメートルの位置にあり、環状道路の整備により中心市街地や大分自動車道へのアクセス機能が高い住宅地と幹線道路沿道の工業地で構成されています。また、地域内には農地も多く点在しており自然豊かな地域でもあります。</p> <p>しかし、この地区は公共施設が未整備のまま住宅化が進んだ事により、防災上危険な密集住宅地を形成し、狭隘道路が多数存在しています。</p>
<p>対象地区</p>	<p>大分市片島・羽田・米良の各一部</p>
<p>整備状況</p>	<p>本地区は、幹線道路と呼べる道路がなく円滑な交通体系が形成されていないことや、狭隘な生活道路が多いことから、災害時における緊急車両の進入困難等の防災上の不備および歩行者の安全確保が懸念されていました。このため住環境整備事業を行うことにより、緊急車両の進入経路や歩行者空間を確保し、安全・安心なまちづくりを推進しています。現在(都)片島松岡線(辻堂交差点～米良バイパス間)の整備に着手しており、主に用地買収を行っています。</p>
<p>整備概要</p>	<p>■主な整備内容 都市計画道路：片島松岡線 全長＝1,088メートル、幅員＝18～25メートル</p> <p>■事業期間 平成29年度～令和15年度</p>
<p>整備位置図</p>	

2. ワークショップ

2-1. ワークショップの概要

滝尾駅前広場の整備方針を検討するにあたり、地域住民の意見を反映するためワークショップ（全2回）を開催しました。

第1回 滝尾駅前広場の「使い方」を考えよう

第1回ワークショップでは、滝尾駅前広場について、こんな「使い方」ができればいいなと思うことを地域の方々から聞きました。

日 時：2023年2月11日（土） 18:30～20:30

会 場：大分南部公民館 集会室

参加人数：36名（※一般参加者）



第1回ワークショップのようす

第2回 滝尾駅前広場の「レイアウト」を考えよう

第2回ワークショップでは、第1回でいただいた意見を参考に作成した滝尾駅前広場のイメージ図（案）をもとにワークショップとしてのアイデアをまとめました。

日 時：2023年7月30日（日） 14:00～16:30

会 場：大分南部公民館 集会室

参加人数：12名（※一般参加者）



第2回ワークショップのようす

2-2. ワークショップニュース

第1回 滝尾駅前広場に関する ワークショップニュース

【テーマ】 滝尾駅前広場の 「使い方」 を考えよう

実施日時：令和5年2月11日(土)
18:30~20:30
会 場：大分南部公民館
集会室
参加人数：36名

■ワークショップの目的と概要

滝尾駅前広場がどのような駅前広場になれば良いか、参加者の皆さんのアイデアをまとめていくことが目的です。

ワークショップは全2回開催を予定しており、令和5年2月11日(土)に第1回ワークショップを開催いたしました。

第1回ワークショップでは、滝尾駅前広場について、こんな「使い方」ができればいいなと思うことを皆さんからお聞きました。

第2回ワークショップ(令和5年7月頃開催予定)では、今回いただいたご意見を参考に作成した駅前広場イメージ図(案)を基にワークショップとしてのアイデアをまとめていきます。

■ワークショップの内容

「滝尾駅前広場の「使い方」を考えよう」をメインテーマに、参加者は、A・B・C・D・E・Fの6つのグループにそれぞれ分かれ、滝尾駅における「課題」と、駅前広場に必要な「機能や施設」を整理しました。

グループごとの検討では、滝尾駅の「今の使い方」や「課題」、より使いやすい滝尾駅にするために駅前広場に必要な「機能や施設」について、それぞれ付箋紙に記入し、意見を発表していただきながら、地図等に貼り付け、各グループで意見をまとめました。

最後は、各グループの成果を全体に発表し、参加者全員で意見を共有しました。



全体の様子



成果発表の様子

■タイムスケジュール

時刻	プログラム
ステップ1：はじめに(全体)	
18:30	開会
18:33	ワークショップについて
18:40	駅前広場についての説明
ステップ2：ワークショップ(グループごと)	
グループワーク	
18:45	<p>滝尾駅前広場の「使い方」を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今の滝尾駅をどのように使っているか教えてください。 ○本日の作業内容を確認しましょう。 ○今の滝尾駅の「課題」を考えましょう。 ○滝尾駅前広場に必要な「機能や施設」を考えましょう。 ○「機能や施設」の優先順位を整理しましょう。 ○グループの意見をとりまとめましょう。
20:05	成果発表
ステップ3：おわりに(全体)	
20:20	今後に向けて
20:27	閉会

【お問い合わせ】

大分市役所 都市計画部 都市計画課 住所：〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
(都市計画課) 担当：立花、関 電話：097-537-5967 E-mail：tokei4@city.oita.oita.jp
(まちなみ企画課) 担当：和間、長尾 電話：097-574-6628 E-mail：matikikaku@city.oita.oita.jp

ワークショップでは、いろんなご意見をいただきました！！

駅前広場は主に6つの機能を有しており、それぞれの機能についての意見は以下のとおりです。

① 交通結節機能

【課題】

- ・車の乗降スペースがなく、送迎しにくい。
- ・駐車場がない
- ・駐輪場の管理が行き届いていない。(放置自転車)
- ・駐輪場に屋根がなく、雨でぬれる。
- ・バス停がなく、バスとの乗り換えがしづらい。
- ・タクシーの駐車場所がなく、利用しづらい。
- ・道路と駅前の境界が分かりづらい。
- ・狭い道路が多く、車等で駅前にアクセスしづらい
- ・転回ができないなど交通の流れが悪い。
- ・舗装がガタガタで車いす等での通行しづらい。

【必要な機能や施設】

- ・バス、タクシー、自家用車の乗降所
- ・駐車場
- ・屋根付き駐輪場
- ・バス停留所
- ・タクシープール
- ・屋根付きの通路
- ・歩行者用通路
- ・車でアクセスや転回がしやすい形状の駅前広場
(ロータリー型の交差点)
- ・周辺道路の拡幅及び車イス等が利用しやすい通路

② 市街地拠点機能

【課題】

- ・駅の近くで買い物ができる場所がない。
- ・近くで遊んでいるときにちょっと食べたい。
- ・野菜等を直売できる場所がない。
- ・駅の近くに保育園等の子育て支援機能がない。
- ・駅の近くに会社がない。

【必要な機能や施設】

- ・コンビニやスーパー等の買い物ができる施設
- ・公共手続き(住民票の取得)ができる場所
- ・農家さんと協同で商業スペース
- ・自動販売機
- ・保育施設、商業施設

③ 交流機能

【課題】

- ・イベントや情報発信等の自由に使える空間がない。
- ・雨天時や夏場等に待合や休憩ができる場所がない。
- ・駅前でゆっくりするスペースがない。
- ・子どもの遊具や子どもルーム、育児支援施設がない。
- ・高齢者などが休憩したり、座るところがない。

【必要な機能や施設】

- ・多目的かつ災害時に利用できる広場空間
- ・待合所(屋根付き、話し合いのできるスペース)
- ・芝生広場(ピクニック等で活用)、ベンチ
- ・高齢者がくつろげる空間、子どもが遊べる空間
- ・育児支援施設

④ 景観機能

【課題】

- ・ブロンズ像や樹木等、地区をイメージするシンボルがない。
- ・にぎわいがなく、夜間に暗いなど景観的にさみしい。
- ・駅周辺に街灯がなく、夜に暗い。
- ・小さくても良いので電車が見れる所が欲しい。

【必要な機能や施設】

- ・地域のシンボル(地域を一目で象徴するもの)
- ・明るいイメージが持てる緑や親水空間
- ・樹木
- ・街灯
- ・電車を眺めることができる小規模なスペース

⑤ サービス機能

【課題】

- ・時計がない。
- ・トイレがない。
- ・歴史等の情報発信ができるような案内板がない。
- ・電光掲示板がなく、電車の状況がわかりづらい。
- ・公衆電話、郵便ポストなどが無い。

【必要な機能や施設】

- ・時計(休憩室、外の両方)
- ・トイレ
- ・案内板や電光掲示板
- ・公衆電話
- ・郵便ポスト

⑥ 防災機能

【課題】

- ・街灯が少なく、駅周辺が暗い。
- ・駅周辺の道路が狭く、緊急車両が入りづらい。
- ・災害時の備蓄倉庫等がない。

【必要な機能や施設】

- ・駅員さんや交番、防犯カメラ
- ・街灯や照明(防犯、防災)、屋根(防災時の雨よけ)
- ・津波や地震に備えた高所や地下避難所
- ・食料備蓄施設

グループごとのワーク

Aグループ 参加者 5名

車でのアクセスや乗り降りなど、交通結節機能が強化されると使いやすい駅前になりそう。雨風をしのげる快適な待合空間や多目的に使える広場があるといいな！！



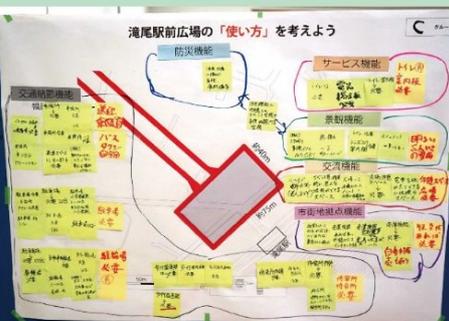
Bグループ 参加者 7名

現在は、年に数回程度しか、滝尾駅を利用していないかな。アクセスがしやすく、話し合いなどができるような待合空間があれば、もっと利用が増えるかも！！



Cグループ 参加者 7名

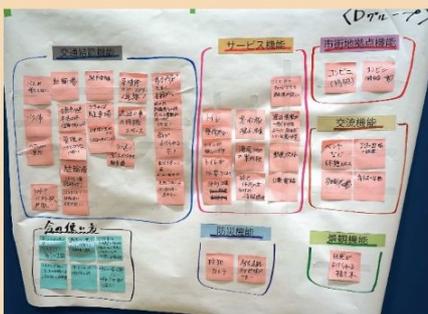
滝尾駅は、通勤・通学に利用する人が多いと思う。駐輪場や送迎用の乗降場など、通勤・通学利用がしやすくなる機能があるといいな！！



ショップの様子と成果

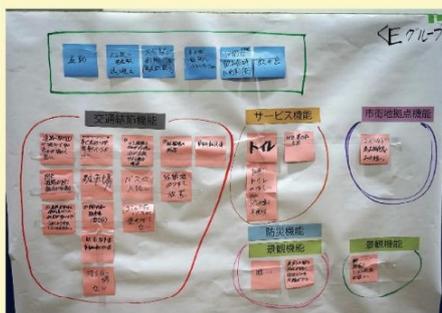
Dグループ 参加者6名

送迎者の待機スペースや駐車場が狭いと思う。子どもが遊べたり、高齢者等が気軽に休憩できるような場所があるといいな！！



Eグループ 参加者6名

滝尾駅周辺は、街灯が少なく、夜は怖い印象がある。街灯やトイレを設置したりして快適に利用できる駅前になるといいな！！



Fグループ 参加者5名

周辺の道路を含め、ベビーカー等で訪れるのは怖い印象がある。歩行者用通路や広場の整備など、駅前の立地を活かした子どもと利用しやすい場所になるといいな！！



第2回 滝尾駅前広場に関する ワークショップニュース

【テーマ】 滝尾駅前広場の 「レイアウト」 を考えよう

実施日時：令和5年7月30日（日）
14:00～16:30

会場：大分南部公民館
集会室

参加人数：12名

■ワークショップの目的と概要

令和5年7月30日（日）に、「第2回 滝尾駅前広場に関するワークショップ」（全2回開催）を行いました。

第1回のワークショップでは、滝尾駅前広場について、こんな「使い方」ができればいいなと思うことを地域の方々からお聞きしました。

第2回目でも最終回となる今回は、前回いただいたご意見を参考に作成した滝尾駅前広場の「イメージ図（案）」を基にワークショップとしてのアイデアをまとめていきました。

■タイムスケジュール

時間	プログラム	
はじめに（全体）		
14:00	開会	
14:03	ワークショップについて	
14:10	駅前広場についての説明	
ワークショップ（グループごと）		
14:20	グループワーク1 滝尾駅前広場の「イメージ図（案）」について意見を出そう	ステップ1 ：（10分） ●自己紹介等 ●作業内容の確認 ステップ2 ：（20分） ●イメージ図へ意見
14:50	意見発表	
15:10	グループワーク2 滝尾駅前広場の「レイアウト」を考えよう	ステップ3 ：（20分） ●機能や施設等 ●テーマ決め ステップ4 ：（20分） ●道路線形を描く ●機能や施設の配置
16:00	成果発表	
おわりに（全体）		
16:20	今後について	
16:25	閉会	

■ワークショップの内容

「滝尾駅前広場の「レイアウト」を考えよう」をメインテーマに、参加者はA・B・Cの3つの班にそれぞれ分かれて検討しました。

ステップ1では、それぞれが滝尾駅前広場を将来どんな場所にしたいかを考えました。

ステップ2では、代表的な3つの案について長所や短所を比較検討しました。

ステップ3では、滝尾駅前広場にあると良い施設、必要な施設、実際にしたいことなどについて、第1回の内容も念頭に置きつつ、改めて考えていただいて整理しました。

ステップ4では、滝尾駅前広場のレイアウトを考えました。



A班



B班



C班

【お問い合わせ】

大分市役所 都市計画部 まちなみ企画課
担当：信原、長尾 電話：097-585-6004

所在地：〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
メール：matikikaku@city.oita.oita.jp

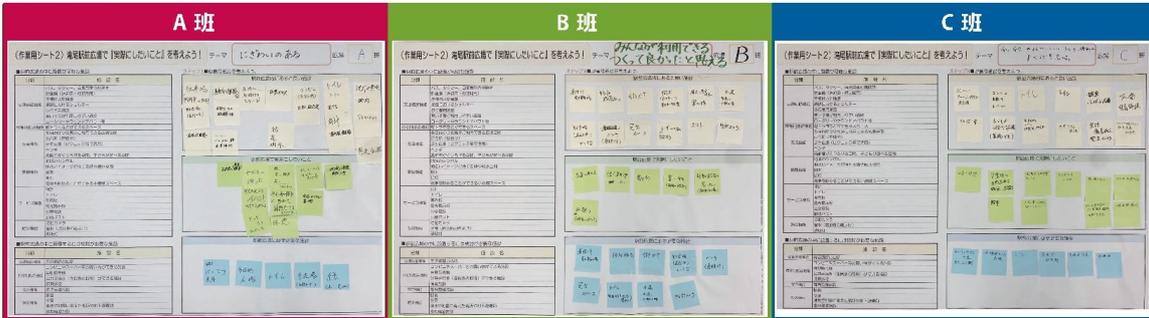
■グループワーク1 滝尾駅前広場の「イメージ図(案)」についてご意見をいただきました!

ステップ2 イメージ図へ意見を出そう。

	【A案】ロータリー案、結節機能重視	【B案】ラウンドアバウト案、交通機能重視	【C案】ロータリー案、広場機能重視	
長所	<ul style="list-style-type: none"> 駅利用者のアクセス性が各案中、最も優れる。(各種乗降場、駐車場が駅に近い) 各案中、駐車場が最も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 各案中、車の交通が最も円滑。 各案中、車の交通が最も円滑。 市内初形状採用というシンボル性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各案中、最大の広場を確保できる。 駐車場がA案に次いで多い。 市街地、各種乗降場が駅に近い。 	
短所	<ul style="list-style-type: none"> 通過車両が各種乗降場付近を通過するため、混雑の恐れあり。 広場へのアクセス性がB案より劣る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種乗降場を確保できます。駅利用者のアクセス性が各案中、最も劣る。(バス乗降場は駅前線に設置) 最大広場部分が不整形。 駐車台数は各案中、最少(5台)。 	<ul style="list-style-type: none"> 通過車両が各種乗降場付近を通過するため、混雑の恐れあり。 バス乗降場から駅へのアクセス性がA案より劣る。 広場へのアクセス性がB案より劣る。 	
共通	<ul style="list-style-type: none"> 一般車両(通過車両)が広場内に入らないようにしたい(A,B,C共通) 無断駐車対策が必要 曲から滝尾駅等を通るバイパスとのアクセスはどうなるのか 若い人の意見が必要 地区に遊ぶ場所がほしい 			
A班	長所	<ul style="list-style-type: none"> B、C案に比べると中心部に広場があり広場を利用しやすいので、A案が良い 駐車場と広場とのアクセスが良い 車のさばきは良い 	<ul style="list-style-type: none"> 駅に面した部分の広場がある程度広く、行事等が利用しやすい 車のさばきは最適 	<ul style="list-style-type: none"> 広場が広く、活用しやすい
	短所	<ul style="list-style-type: none"> 広場が通路に囲まれている 広場が狭い イベント時広場(中央)へのアクセスが悪い 大型バスの駐車スペースが狭い 駐車場10台程で良いのでは? 	<ul style="list-style-type: none"> 停車できない イベント広場がいびつな形 車の通過交通が多いと安全性に欠ける 車の停車、駐車が不便 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場から駅へのアクセス時、道路の横断が必要 イベント広場がいびつ 広場が道路で分断される
B班	長所	<ul style="list-style-type: none"> バス停と駅が近い 	<ul style="list-style-type: none"> 真ん中の島(緑のスペース)は、人が通れずもったいない 広場が分断され形が不整形で無駄なスペースが多い 車の交通量が多いと有効だと思うが、この場所では必要ないかも 目的が車を流すことにかたより過ぎていて バス停が駅から遠い 	<ul style="list-style-type: none"> 広場が道路で囲われていない 横断歩道が無いので安全 広場が広い 車の乗降場と駅が近い
	短所	<ul style="list-style-type: none"> 駐車台数が必要以上に多い(現状は夕方4~5台程度停まるだけ) 駐車台数が多いと駅に関係のない使い方をします 道路を横断しないと広場に行けない 地元の人にはバス利用が少なくメリットがあまり無いかも 	<ul style="list-style-type: none"> 真ん中の島(緑のスペース)は、人が通れずもったいない 広場が分断され形が不整形で無駄なスペースが多い 車の交通量が多いと有効だと思うが、この場所では必要ないかも 目的が車を流すことにかたより過ぎていて バス停が駅から遠い 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車台数が必要以上に多い(現状は夕方4~5台程度停まるだけ)
C班	長所	<ul style="list-style-type: none"> 送迎スペースが駅の近くに作れる バス停が駅から近い 	<ul style="list-style-type: none"> 交通が円滑 	<ul style="list-style-type: none"> バス停が駅から近い 送迎スペースを駅の近くに作れる 碓山の流しソーメンのイベントなど、地区のイベントを広場で開催しやすい
	短所	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場はそれほど確保しなくても良い 	<ul style="list-style-type: none"> バス停が駅から遠い 送迎スペースが駅から遠い 交通量は増えるが、通過されるだけで地元にはメリットが無い 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場はそれほど確保しなくても良い それほど大きな広場面積を確保しなくても良い

■グループワーク2 滝尾駅前広場の「レイアウト」を考えました！

ステップ3 必要な施設を考えよう。

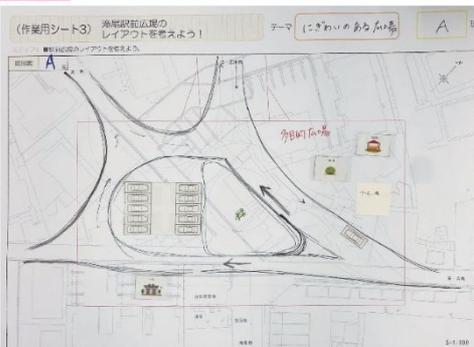
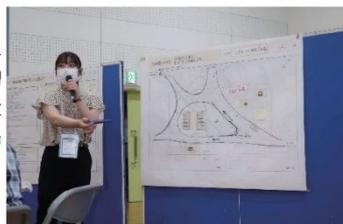
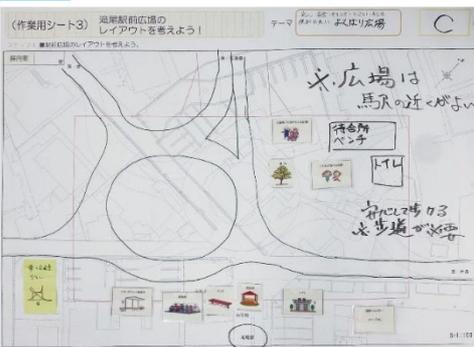


	駅前広場にあると良い施設	駅前広場で実際にしたいこと	駅前広場に必ず必要な施設
A 班	<p>駅前広場にあると良い施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス、タクシー、車の乗降場 ・広場に屋根付きステージ ・駐車場（時間貸有料 or 無料） ・コンビニ（自販機） ・屋根付き駐輪場 ・街灯や照明 ・屋根付き通路 ・休憩スペース ・緑、花、樹木 ・案内板電光器 ・自動販売機 	<p>駅前広場で実際にしたいこと</p> <p>テーマ：にぎわいのある広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に青空授業がしたい ・子どもと広場で遊びたい ・簡単なイベント ・ドッグランで犬を遊ばせたい ・緑、芝、樹木、花を見る、育てる ・休憩したい（散歩の途中など） ・フリーマーケットなどのイベント ・市場、マルシェ、買い物 ・地域の情報周知・入手 	<p>駅前広場に必ず必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーゴラ、あずまや ・多目的広場 ・トイレ ・水道（手洗い・水飲み場） ・緑（木・芝など）
B 班	<p>駅前広場にあると良い施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根付き駐輪場 ・移動販売スペース ・樹木（大きくなりすぎないもの）数本程度 ・歴史・滝尾地区の案内板 ・水道（手洗い・水飲み場） ・駐車場（送迎用）4～5台 ・トイレ（多目的トイレ含む） ・屋根付ベンチ・ポスト・街灯 ・芝生スペース・防犯カメラ 	<p>駅前広場で実際にしたいこと</p> <p>テーマ：みんなが利用できるつくって良かったと思える広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と会ったり集まったりして話したい（そこにいけば誰かいて集会のように話ができる雰囲気が良い） ・お祭り（地区のイベント） ・散歩 ・移動販売など（朝市などを開催して売り買いたい） 	<p>駅前広場に必ず必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根付き駐輪場 ・芝生スペース ・移動販売 ・トイレ（多目的トイレも含めて） ・街灯 ・水道（手洗い、水飲み場） ・駐車場（送迎用）4～5台 ・防犯カメラ ・屋根付ベンチ
C 班	<p>駅前広場にあると良い施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩できる施設（休憩室、待合室など） ・ICカードチャージ機能付券売機 ・子どもが遊べる広場（夏場でも） ・子ども達が安心して歩ける歩道 ・食料備蓄施設 ・電気インフラ ・トイレ ・芝生広場 ・保育施設 ・待合室 	<p>駅前広場で実際にしたいこと</p> <p>テーマ：よくばり広場～安心・安全・やすらぎ・憩い・子ども・便利の良い～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日陰で休憩したり広場でくつろいだりしたい ・住民同士でふれあいたい ・災害時の一時避難所として活用できる施設、空間にしたい ・緊急車両など日常の緊急時に使いたい ・救急車のアクセスを良くして、緊急時などに使いたい ・子ども達を安心して学校に通わせたい ・子どもを遊ばせたい 	<p>駅前広場に必ず必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車道と分離されている、安心して歩ける歩道 ・十分な広さを持った広場 ・トイレ ・屋根付休憩所（あずまやなど） ・屋根付歩道（シェルター） ・駐輪場

■発表

ステップ4 駅前広場のレイアウトを考えよう。

ステップ1～3を踏まえ、ステップ4でレイアウト等を検討した後、班毎に発表しました。

<p>A班 テーマ：にぎわいのある広場</p> 	<p>発表内容</p> <p>パーゴラやあずまやなどの休憩スペースに隣接して、緑、トイレ、手洗い場などがあると良い。様々な期間限定イベントができる多目的広場も良い。</p> <p>人が集まる広場としたいが、通過交通が多いと危ない。通過交通と JR 利用者の車両動線を分けてレイアウトし、安全性を確保する。ただし、広場面積が狭まるのは課題だ。</p> 
<p>B班 テーマ：みんなが利用できるつくって良かったと思える広場</p> 	<p>発表内容</p> <p>駐輪場、移動販売などが必要、防犯カメラとトイレは絶対に必要。レイアウトはC案をベースに、街灯、乗降場、屋根付き駐輪場、トイレ、防犯カメラを配置した。</p> <p>特に広場を重視し、移動販売や朝市ができるスペース、ベンチ、テーブル、芝、子どもが遊んだ時の手洗い場や水飲み場があると良い。</p> 
<p>C班 テーマ：よくばり広場～安心・安全・やすらぎ・憩い・子ども・便利の良～</p> 	<p>発表内容</p> <p>レイアウトは C 案をベースに、広場でつろぐ、災害時の一時避難場所、緊急車両など緊急時の活用、心れあいや交流の場、子ども達が安心して使える広場にしたい。</p> <p>トイレ、休憩施設、ベンチ、緑陰となる樹木、駐輪場などが必要。</p> <p>交通量の実態を踏まえ、道路は今後もう少し検討が必要。</p> 

■おわりに（総評、今後の予定など）

〈総評〉

総評として、西日本コンサルタント株式会社の久保氏から、みなさんの期待感が伝わったこと、いただいた3つのテーマに駅前広場を近づけるよう専門的な立場から取り組みたいことなどが話されました。

〈今後の予定〉

今後は、みなさんのご意見等を参考にさせていただきながら、駅前広場や滝尾駅前線の整備に向けた手続きを来年の3月位を目途に進めていきたいことなどを説明しました。

3. 地元会議

3-1. 地元会議の概要

滝尾駅前広場の整備方針を検討するにあたり、地域住民の意見を反映するため地元会議（全3回）を開催しました。

第1回 滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議

第1回地元会議では、第2回ワークショップの結果報告と基本計画図（たたき案）などについて、地域の代表者と意見交換を行いました。

日時：2023年9月22日（金） 10:00～11:00

会場：森岡校区公民館

参加人数：11名（※各地区の自治会長、地区内の校長・PTA会長・地区連合自治会 他）



第1回地元会議のようす

第2回 滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議

第2回地元会議では、第1回目の意見に関する回答や駅前広場の施設計画（案）、道路形状などについて、地域の代表者と意見交換を行いました。

日時：2024年1月25日（木） 10:00～11:30

会場：森岡校区公民館

参加人数：11名（※各地区の自治会長、地区内の校長・PTA会長・地区連合自治会 他）



第2回地元会議のようす

第3回 滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議

第3回地元会議では、基本計画について、地域の代表者と意見交換を行いました。

日時：2024年12月26日（木） 10:00～11:00

会場：森岡校区公民館

参加人数：10名（※各地区の自治会長、地区内の校長・PTA会長・地区連合自治会 他）



第3回地元会議のようす

【滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議メンバー】

○津守地区（3名）

- | | |
|----------|---------|
| ・津守上自治会長 | 片山 仁之 氏 |
| ・津守下自治会長 | 阿部 和広 氏 |
| ・富岡自治会長 | 福田 耕三 氏 |

○曲地区（3名）

- | | |
|----------|---------|
| ・曲上自治会長 | 大山 義雄 氏 |
| ・曲下自治会長 | 甲斐 清己 氏 |
| ・前曲下自治会長 | 首藤 強一 氏 |

○地区関係者（3名）

- | | |
|---------------|---------|
| ・森岡小学校校長 | 窪田 秀樹 氏 |
| ・森岡小学校 PTA 会長 | 松川 大介 氏 |
| ・森岡公民館館長 | 橋本 正勝 氏 |

○滝尾地区連合自治会（2名）

- | | |
|----------------|---------|
| ・会長（米良下自治会長） | 糸永 隆章 氏 |
| ・副会長（南下郡南自治会長） | 佐藤 宏俊 氏 |

※役職等については、2023年（令和5年）9月時点

【事務局】

- | | |
|---------|----------|
| （都市計画部） | ・まちなみ企画課 |
| | ・都市計画課 |
| | ・まちなみ整備課 |
| （土木建築部） | ・土木管理課 |

4. 滝駅前広場の将来利用者数

滝尾駅広場の交通空間（交通結節機能）に関する施設として、「乗降場（バス・自動車）」「自家用車短時間駐車場」「待機場（タクシー）」「駐輪場（自転車・バイク）」があげられます。

これらの施設規模の設定にあたっては、まちづくりの動向などを見据えた駅前広場利用者数の「諸将来利用者数（目標値）」を設定し、目標値に応じた計画とします。

(1) 滝尾駅の利用者数

2024年（令和6年）1月現在、大分市統計年鑑で公表されている年間乗車人員（人/年）をもとに、1日当たり1往復として駅の利用者数（人/日）を算出しています。

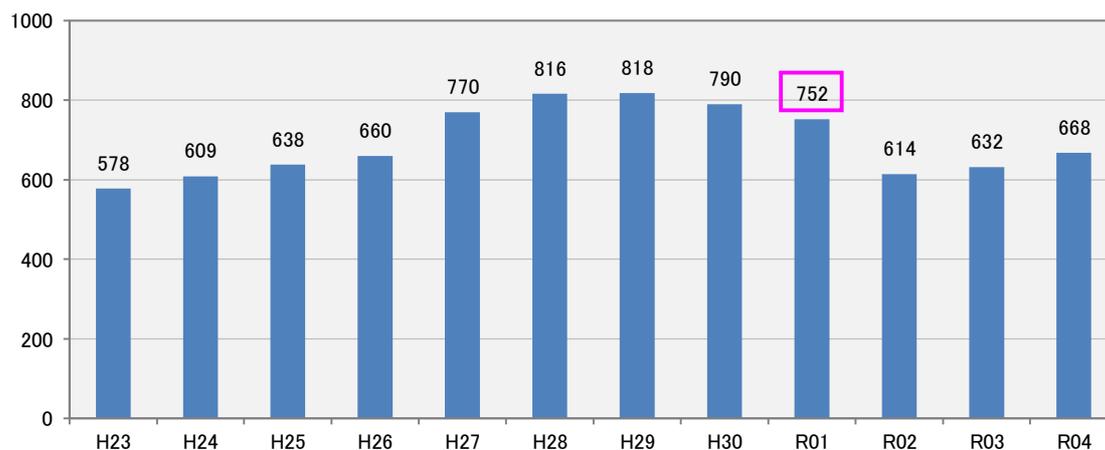
2020年度（令和2年度）以降はコロナ禍の影響で利用者数が減少しているため、コロナ禍以前となる2019年度（令和元年度）の752人を現在の利用者数として設定します。

■JR滝尾駅の乗車人員の推移（人/年）

年度	年間乗車人員 （人/年）	利用者数(人/日)の算出
2017年度	149,285	$149,285 \times 2 / 365 = 818$ 人
2018年度	144,175	$144,175 \times 2 / 365 = 790$ 人
2019年度	137,240	$137,240 \times 2 / 365 = 752$ 人
2020年度	112,055	$112,055 \times 2 / 365 = 614$ 人
2021年度	115,340	$115,340 \times 2 / 365 = 632$ 人
2022年度	121,910	$121,910 \times 2 / 365 = 668$ 人

資料：大分市統計年鑑

■JR 滝尾駅の利用者数の推移（人）



資料：大分市統計年鑑をもとに算出（乗車人員×2/365日）

(2) 駅前広場の利用者数の目標値

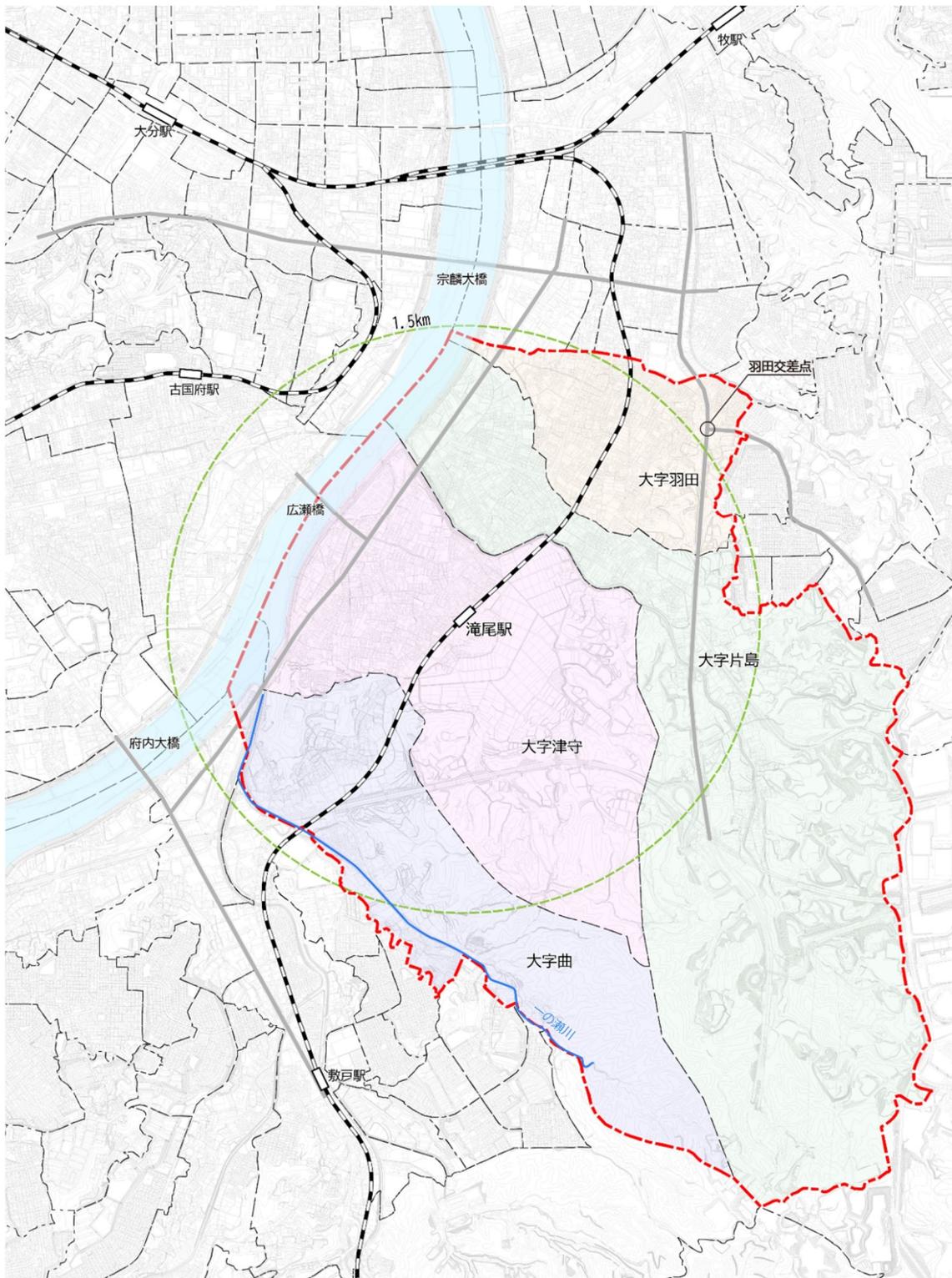
前頁の将来利用者数を踏まえて、駅勢圏の人口推移とまちづくりの動向などから滝尾駅前広場の目標値（利用者数 [人/日]）を設定します。

① 駅勢圏の設定

JR 滝尾駅の駅勢圏については、以下の周辺状況を踏まえて、JR 滝尾駅を中心に概ね 1.5km 圏内に位置する「大字羽田」「大字片島（米良含む）」「大字津守（富岡含む）」「大字曲」を駅勢圏として設定します。

- ・ 大分川より西側に位置する地域は JR 大分駅や JR 古国府駅の利用が多いと考えられる。
- ・ バス路線となっている羽田交差点（県道 56 号及び市道丸尾団地 1 号線の交差点）より北及び東側は、JR 滝尾駅を利用しないと考えられる。
- ・ 一の瀬川より南側は JR 敷戸駅の利用が多いと考えられる。

■ 駅勢圏の設定



：滝尾駅勢圏

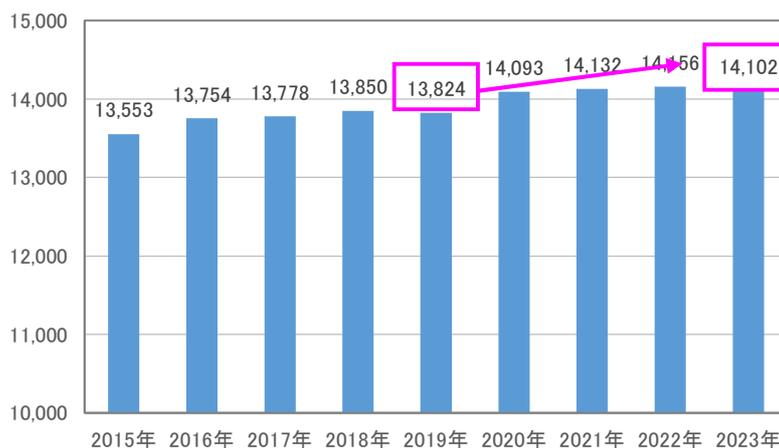
② 利用者数の目標値

a. 駅勢圏の人口推移

2023年（令和5年）9月現在の駅勢圏人口は14,102人となっており、近年はほぼ横ばいで推移しています。

■ 駅勢圏の人口推移

町丁名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
片島	4,080	4,047	4,072	4,093	4,068	4,074	4,048	4,087	4,003
羽田	3,882	3,974	3,997	4,057	4,049	4,174	4,200	4,145	4,120
米良	557	565	578	555	583	576	574	549	562
津守	2,965	3,054	3,033	3,016	3,013	3,097	3,119	3,115	3,164
富岡	923	922	931	958	941	934	952	963	962
曲	1,146	1,192	1,167	1,171	1,170	1,238	1,239	1,297	1,291
合計	13,553	13,754	13,778	13,850	13,824	14,093	14,132	14,156	14,102

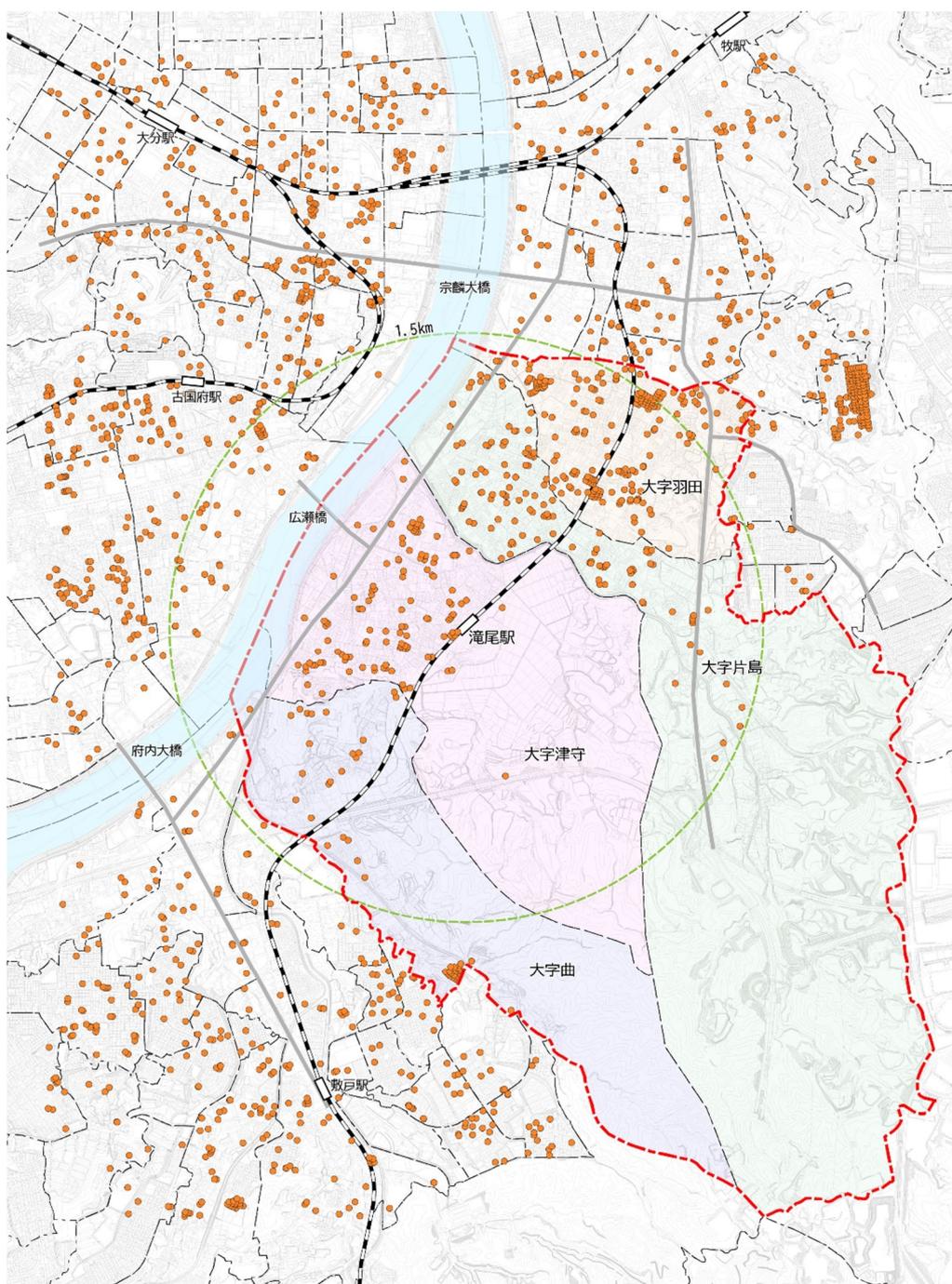


資料：大分市住民基本台帳（各年9月末）

b. 駅勢圏付近における新築動向

駅勢圏付近において、2015年度（平成27年度）～2020年度（令和2年度）にかけて新築の建物の立地が確認できます。駅勢圏は大分市中心部に近いこともあり、今後も新築の建物が立地していくもの考えられます。

■新築動向（2015年度（平成27年度）～2020年度（令和2年度））



：滝尾駅勢圏

資料：大分市（都市計画基礎調査）

c. 目標値の設定

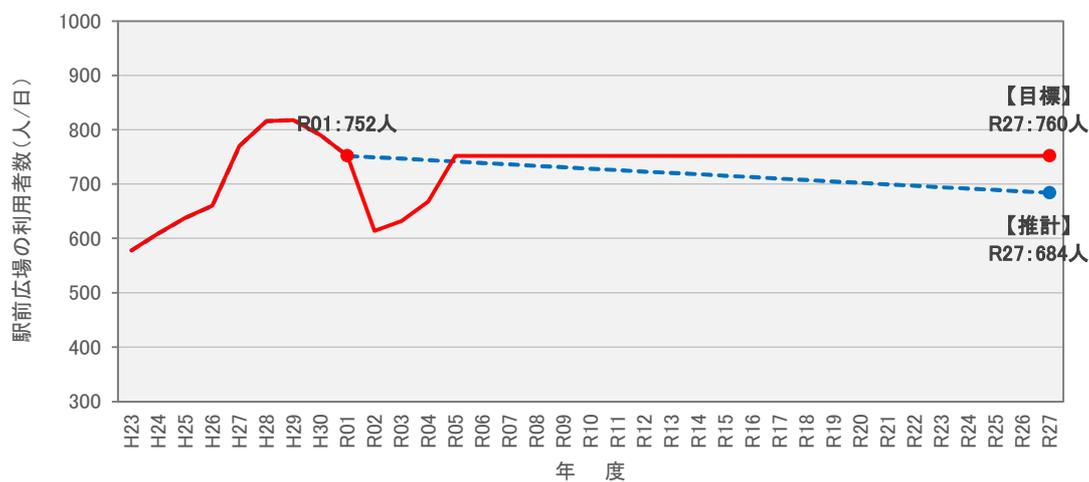
a. ～ b. を踏まえて、整備基本構想における滝尾駅周辺地区の将来像である「地域の拠点と周辺環境の整備による居住環境の向上」を目指し、滝尾駅前広場及び(都)滝尾駅前線の整備に合わせて、周辺のまちづくりを実施することで、人口の減少傾向を抑えて現状を維持することを目標とします。

これより、JR 滝尾駅の利用者数の目標値は「760 人/日」とします。

■ 目標値

駅利用者数の目標値 : 760 人/日

■ 駅前広場の利用者数の推移



「推計値」は大分市人口ビジョンにおける大分地区の伸び率などから算出しています。

5. 交通空間の施設規模

滝尾駅前広場の目標値である「760（人/日）」を用いて、「(1)パーソントリップ調査」「(2)交通量調査」「(3)大分市内の鉄道駅の事例」をもとに算出した各種施設規模を整理します。

(1) パーソントリップ調査

鉄道端末交通手段分担率（パーソントリップ調査）およびピーク率（駅前広場計画指針）による各種交通手段の利用人数から、施設規模を算出します。

■鉄道端末代表交通手段（分担率）

駅名	路線バス	自動車（同乗）	自動車（運転）	タクシー	バイク	自転車	徒歩	総計
滝尾駅	0.0%	5.4%	5.4%	0.0%	0.0%	16.2%	73.0%	100.0%

資料：2013年（平成25年）大分都市圏パーソントリップ調査結果
「鉄道駅別ゾーン別鉄道端末別乗降トリップ数」（大分県公表データ）

■鉄道利用者のピーク率

	集積度(高)～集積度(低)	(参考)標準偏差
大都市圏	0.16～0.23	0.03
地方都市圏	0.16～0.26	0.05

資料：駅前広場計画指針 P97

① バス乗降場 → 0台

現在、滝尾駅周辺地区には路線バスが運行していません。

② 自動車乗降場 → 4台

「自動車（同乗）」のピーク時の利用は10.67人（760人×ピーク率0.26×分担率5.4%）となっています。JR滝尾駅には、朝夕の時間帯で一時間に3本停車するため、4台分（9.79÷3）が必要となります。

③ 自家用車短時間駐車場 → 16台

JR滝尾駅は主に通勤・通学で利用されているため、760人の利用者は朝夕の往復で利用することから、乗車または降車のみの利用者数は380人（760人÷2）とします。

380人に分担率を乗じると、20.5人（380人×5.4%）が自分の運転で移動していることとなります。さらに、平均乗車人数1.3人*で割ると16台分（20.5人÷1.3人/台）が必要となります。

※ 駅前広場計画指針

④ タクシー乗降場（待機場） → 0台

パーソントリップ調査結果ではタクシー利用はありません。

⑤ 駐輪場（自転車・バイク） → 62台

③自家用車短時間駐車場と同様の考え方で算出すると、62台分（380人×分担率16.2%）が必要となります。

(2) 交通量調査結果

2023年（令和5年）10月17日（火）に実施した交通量調査の結果より、施設規模を算出します。

■JR 滝尾駅利用者の交通手段

	路線バス	自動車 (送迎)	自動車 (運転)	タクシー	バイク	自転車	徒歩	総計
ピーク時間 (7:20-8:20)	0	6	0	0	2	43	63	114
調査時間 (6:00-9:00)	0	15	0	0	4	110	129	258
	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	1.6%	42.6%	50.0%	100.0%
					44.2%			

資料：交通量調査結果

■駐輪場利用者の乗降割合

	乗車	降車	合計
自転車	72	38	110
バイク	4	0	4
合計	76	38	114
駐輪場利用者 乗降割合	66.7%	33.3%	100.0%

資料：交通量調査結果

① バス乗降場 → 0台

現在、滝尾駅周辺地区には路線バスが運行していません。

② 自動車乗降場 → 2台

自動車（送迎）の利用は、朝ピーク時に6人となっています。JR 滝尾駅には、朝夕の時間帯で一時間に3本停車するため、2台分（6人÷3）が必要となります。

③ 自家用車短時間駐車場 → 0台

交通量調査結果からは自家用車短時間駐車場の利用はありません。

④ タクシー乗降場（待機場） → 0台

交通量調査結果からはタクシーの利用はありません。

⑤ 駐輪場（自転車・バイク） → 112台

JR 滝尾駅は主に通勤・通学で利用されているため、760人の利用者は朝夕の往復で利用することから、乗車または降車のみの利用者数は380人（760人÷2）とします。

駐輪場（自転車・バイク）の利用割合を乗じると168.0人（380人×44.2%）となります。

利用者の乗降率を考慮して、112台分（168.0人×66.7%）が必要となります。

(3) 大分市内の鉄道駅の事例

大分市内にある JR 大分駅を除いた利用者数が多い鉄道駅（JR 高城駅・JR 鶴崎駅・JR 大在駅）の整備状況より、施設規模を算出します。

■各駅の利用者数と施設数

	利用者数※	自動車乗降場	自家用車用短時間駐車場	タクシー乗降場	駐輪場（自転車・バイク）
高城駅	3,400 人/日	4	15	4	332
鶴崎駅	3,800 人/日	0	21	5	744
大在駅	4,400 人/日	1	21	6	624

※大分市統計年鑑（2019 年度（令和元年度））

■利用者 1 人当たりの各設備の数

	自動車乗降場	自家用車用短時間駐車場	タクシー乗降場	駐輪場（自転車・バイク）
高城駅	0.0012	0.0044	0.0012	0.0966
鶴崎駅	0.0000	0.0055	0.0013	0.1935
大在駅	0.0002	0.0048	0.0014	0.1418
荷重平均	0.0004	0.0049	0.0013	0.1455

① バス乗降場 → 0 台

現在、JR 高城駅、JR 鶴崎駅、JR 大在駅のロータリー内に路線バスは運行していません。

② 自動車乗降場 → 1 台

自動車の乗降場は、1 台分（760 人/日×0.0004）が必要となります。

③ 自家用車短時間駐車場 → 4 台

駐車場（時間貸し）は、4 台分（760 人/日×0.0049）が必要となります。

④ タクシー乗降場（待機場） → 1 台

タクシー乗降場（待機場）は、1 台分（760 人/日×0.0013）が必要となります。

⑤ 駐輪場（自転車・バイク） → 111 台

駐輪場は、111 台分（760 人/日×0.1455）が必要となります。

6. 滝尾駅前広場整備基本計画の策定経過

2022年度（令和4年度）		
2023年（令和4年）	2月11日	第1回滝尾駅前広場に関するワークショップ（地区住民） ○募集対象：滝尾地区にお住まいの方 ○開催場所：大分南部公民館 集会室 ○参加人数：36名 ・滝尾駅前広場の「使い方」を考えよう
	3月30日	滝尾駅周辺整備基本構想 公表
2023年度（令和5年度）		
2023年（令和5年）	7月30日	第2回滝尾駅前広場に関するワークショップ（地区住民） ○募集対象：滝尾地区にお住まいの方 ○開催場所：大分南部公民館 集会室 ○参加人数：12名 ・滝尾駅前広場の「イメージ図（案）」について意見を出そう ・滝尾駅前広場の「レイアウト」を考えよう
	9月22日	第1回滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議 ○参加者：滝尾地区の自治会、地元関係者 ○開催場所：森岡校区公民館 ○参加人数：約11名 ・ワークショップの結果報告 ・滝尾駅前広場基本計画図（たたき案）について
	10月29日	滝尾地区連合自治会 報告 ○参加者：滝尾地区連合自治会（24名） ○開催場所：森岡校区公民館 ・第1回滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議の開催報告
	11月11日 11月13日	都市計画変更についての地元説明会 ○開催場所：森岡校区公民館 ○参加人数：84名（47名、37名）
	11月16日 ～ 11月30日	都市計画変更の素案縦覧
	-	都市計画変更の公聴会 ※意見が無かったため開催なし。
2024年（令和6年）	1月15日 ～ 1月29日	都市計画変更の案縦覧

2024年（令和6年）	1月25日	第2回滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議 ○参加者：滝尾地区の自治会、地元関係者 ○開催場所：森岡校区公民館 ○参加人数：約11名 ・第1回地元会議のご意見に関する回答について ・駅前広場の施設、道路形状について ・駅前線の道路線形について ・整備に向けての課題、整備手法について
	2月27日	都市計画審議会
	3月25日	都市計画の決定・変更
	3月30日	滝尾地区連合自治会 報告 ○参加者：滝尾地区連合自治会（25名） ○開催場所：森岡校区公民館 ・第2回滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議の開催報告
2024年度（令和6年度）		
2024年（令和6年）	12月26日	第3回滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議 ○参加者：滝尾地区の自治会、地元関係者 ○開催場所：森岡校区公民館 ○参加人数：約10名 ・基本計画について
	12月27日	滝尾駅前広場整備基本計画の策定



碓山公園から望むまちの様子(令和6年12月撮影)

編集・発行 大分市 都市計画部 まちなみ企画課

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
TEL (097) 534-6111
FAX (097) 534-6120
E-mail matikikaku@city.oita.oita.jp
URL <http://www.city.oita.oita.jp>

2024年（令和6年）12月 策定